

平成 29 年度事業計画書

平成 29 年 9 月 1 日から
平成 30 年 8 月 31 日まで

1. 第 66 回学術総会の開催

会 期：2017 年 10 月 5 日（木）・6 日（金）

会 場：沖縄コンベンションセンター

学会長：琉球大学大学院医学研究科衛生学・公衆衛生学講座教授 青木一雄

テーマ：地域活性化に向けた農村医学の将来展望
～沖縄から日本、日本から世界へ～

(1) 学会長講演

「衛生学・公衆衛生学から農村医学を俯瞰する

～保健・医療・福祉分野への ICT の利活用を見据えた将来展望を交えて～」

琉球大学大学院医学研究科衛生学・公衆衛生学講座教授 青木一雄

(2) 特別講演

① 「青森県の短命県返上活動から見えてくるもの」

弘前大学大学院医学研究科社会学講座教授 中路重之

② 「沖縄健康医療拠点構想における医療情報システムへの展望」

琉球大学大学院医学研究科分子・細胞生理学講座教授 松下正之

③ 「生涯現役、働くことへの支援の意義」

産業医科大学長 東 敏昭

(3) 教育講演

① 「感染症の水際対策と医療機関との連携」

厚生労働省那覇検疫所長 本馬恭子

② 「開発途上国：少数民族・貧困僻地農村での研究と実践からみえるグローバルヘルス」

琉球大学医学部保健学科国際地域保健学教室教授 小林 潤

③ 「I 型アレルギー —基礎的研究結果から—」

琉球大学大学院医学研究科 衛生学・公衆衛生学講座准教授 花城和彦

(4) 市民公開講座

① 「世界健康長寿地域 “ブルーゾーン” のパイオニア、沖縄」

沖縄長寿科学研究センター長 鈴木 信

② 「子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）の概要 ～沖縄県宮古島の状況～」

琉球大学大学院医学研究科育成学講座教授 知念安紹

(5) 金井賞受賞講演

「地域住民とともに、さらに新たなステップへ」

鹿児島県厚生農業協同組合連合会代表理事理事長 前田敏郎

(6) メインシンポジウム

「地域医療が地域の活性化に果たす役割」

(7) ワークショップ

- ①「農村における食と健康」
- ②「高齢化の進む農村における生活習慣病の予防戦略」
- ③「農作業による健康障害 特に農作業事故と農薬中毒」
- ④「日本農村医学会の国際交流：その概観と展望」
- (8) 一般演題（口演・ポスター）
- (9) 臨床研修医セッション
- (10) ランチョンセミナー

2. 平成 29 年度 J A 共済連委託研究事業の実施

- (1) 新しい医療に関する研究:母指 CM 関節症に対する関節鏡視下手術の普及
主任研究者：小川 健（筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター
総合病院水戸協同病院整形外科講師）
- (2) 地理情報システムを活用した居住環境と生活習慣病発症に関する検討
主任研究者：濱野 強（京都産業大学現代社会学部健康スポーツ社会学科
教授）
- (3) 農村部での急性期脳梗塞患者の搬送と治療に関する研究
主任研究者：町田 明（土浦協同病院神経内科部長）
- (4) 十勝地域における農業労働災害対策～医療現場からの観点での検討と対策～
主任研究者：本宮 真（帯広厚生病院整形外科 医長）
- (5) 地域密着の開業医から見た農村部における地域包括ケアシステムの理念と目指す姿に関する全国質的調査
主任研究者：平川仁尚（名古屋大学大学院医学研究科国際保健医療学
公衆衛生学教室講師）
- (6) 沖縄県における患者救急搬送の実情と救急車利用に関する意識調査
主任研究者：花城和彦（琉球大学大学院医学研究科衛生学・公衆衛生学
講座准教授）

3. 特別研究プロジェクト事業の実施

「農薬中毒部会」、「農機具災害部会」、「農村の生活習慣病部会」、「農村の食と健康部会」において、データベースの充実など調査研究事業を引き続き実施する。

また、本学会の農機具災害部会と全国農業協同組合中央会（JA全中）が中心となって、平成 22 年 5 月に設立した「全国農作業事故防止対策連絡協議会」の活動に対して、引き続き協力・支援し、さらに、農機具災害部会が中心となって、農作業安全対策等において韓国との交流を促進する。

4. 機関誌の発行

機関誌「日本農村医学会雑誌」の内容の充実と年 6 回の定期発行に努めるとともに、国際農村医学会雑誌と統合した英文誌 (Journal of Rural Medicine) について、引き続き年 2 回の定期発行に努める。

5. ホームページの充実

対外広報活動の一環として、ホームページの内容充実および利用促進を図る。

6. 地方会との連絡連携の強化

日本農村医学会地方会との連携および組織の拡充強化を図る。

7. 関係学会ならびに関係研究機関との交流

各種学会ならびに関係機関との交流を促進する。

8. 国際農村医学会等との交流促進

国際農村医学会に対する支援を強化し、国際交流を促進する。

平成30年10月に日本で開催する第20回国際農村医学会学術総会に協力する。

9. 日本農村医学会賞の授与

本学会の研究において顕著な功績をあげた会員または本学会の発展に大きく貢献した会員に対し、日本農村医学会賞を授与する。

10. 日本農村医学会金井賞の授与

農村の保健・医療の向上に顕著な功績をあげた個人または団体に対し、金井賞を授与する。

11. 日本農村医学会研究奨励賞の授与

「日本農村医学会雑誌」および英文誌(Journal of Rural Medicine)に掲載した優秀な研究論文に対し、研究奨励賞を授与する。

12. 日本農業新聞賞に係る候補者(団体)の推薦

農村の保健・医療・福祉の向上に寄与する研究・活動を行った個人または団体を、日本農業新聞賞の候補として(株)日本農業新聞へ推薦する。

13. 農村医学に関する統計・資料の収集

農薬中毒、農機具災害、農村の生活習慣病および農村の食と健康に関する情報の収集・提供に努める。